会費・募金へのご協力ありがとうございました

平成23年度も多くのご協力をいただき、みなさまのあたたかいお気持ちに心より感謝いたします。これからも地域の 信頼を得られる活動を行い、みなさまから寄せられた会費・募金がさらに地域で生かされるよう努力してまいります。

平成23年度 港南区社協世帯賛助会費・特別賛助会費(平成23年8月~)・善意銀行(通年)

[世帯賛助会費] 2,965,874円

(平成 23 年 4 月 1 日~ 24 年 1 月 31 日受付分)

港南区の高齢者・障がい者をはじめとする様々な方を支援 するため、有効に活用させていただきます。

[特別賛助会費] 260,000円

(平成23年4月1日~24年1月31日受付分)

◎納入者一覧 (順不同・敬称略)

(有)石力石材店 / (有)ティー・エー・ケー / ねもと(有) / (株)古屋商店 / 太平住販(株) / (有)共栄商事不動産 / (有)大輪/(株)大山組建材/(株)染谷商店/港南テクニクス(株)/(株)サカエ塗装/(株)新世/(株)京急百貨店/ (有)粉間組/(有)中央美工社/医療法人社団 成仁会 長田病院/(株)東京ガスエコモ/(株)ヨコハマテレナード/ ヨコハマ・ファイブ (株) / (株) プリントン / (有) 飯島測量 / (宗) 自性院 / 医療法人社団 厚済会 上大岡仁正クリニ ック / (株)建設工業調査会 / (有)丸吉商事 / (有)ホソイ / (株)首都圏サービス / (株)黄金メッキ工場 / (有)稲村 クリーニング / (宗) 浄念寺 / (有) 渡辺建材店 / 建設情報サービス (株) / (有) 内倉商事 / ワミレスコスメティックス (株) / (有)エス・テクニカルサービス / (有)佐藤組 / ひばりのアートクラブ / (有)妙高社 / (有)光成

[善意銀行] 769,237円 + 物品3件

(平成23年1月1日~23年12月31日受付分)

○納入者一覧 (順不同・敬称略)

上大岡赤い風船 ((株) オーヴァル) / NPO 法人七和会 / 大庭照子シ ャンソンを歌う実行委員会 / 港南区女性団体連絡協議会 / 古内力男 前田英之 / 大庭照子と平和を歌うコンサート実行委員会 / 石渡美華 港南区芸能連合会 / 田沢ハル子 / 大山勝利 / ボランティアグループ 夢輪 / 岩澤幹夫 / 明るい社会づくり運動港南区協議会 / 港南区民謡・ 民舞連合会 / 蓬莱荘 / 野庭住宅地区社会福祉協議会 / 匿名 1 件

平成23年度 日本赤十字社社資募集運動 (平成23年5月~)

[社資] 13,255,109円

日本赤十字社神奈川県支部に送金し、国内外の救援活動や区内の救急法 講習会の開催・罹災世帯への災害見舞金にあてられます。

(平成 24 年 1 月 31 日現在)

平成23年度 赤い羽根共同募金 年末たすけあい募金(平成23年10月~)



「赤い羽根共同募金」は、神奈川県共同募金会を 通じて平成24年度に県内の施設や団体に配分さ れます。「年末たすけあい募金」は、港南区社協 を通じて申請のあった区内の団体・活動に配分

◆募金実績(平成24年1月31日現在) 赤い羽根共同募金・・・・ 16.111.391円 年末たすけあい募金・・・・4.941.852円

◆年末たすけあい配分先		
高齢者支援事業	7件	305,000円
障害児者支援事業	8件	249,000円
障害者地域作業所	7件	420,000 円
小規模通所授産施設	3件	180,000円
地域活動ホーム	3件	90,000 円
グループホーム	12件	491,700円
子育で支援	1件	30,000円
地区社協活動助成	15件	1,530,000円
地区社協活動助成(福祉ネットワーク)	14件	1,400,000円
合 計	70 件	4,695,700円

港南区元気な地域づくり推進フォーラム

「地域福祉保健計画の推進」と「地域防災」をテーマとした 活動事例を発表します。

- ●日時:平成24年3月14日(水)13:30~16:00(開場13:00)
- ●場所:港南公会堂 ●問合·申込先:港南区役所 福祉保健課 TEL: 847 - 8441 FAX: 846 - 5981

平成24年度こうなんふれあい助成金の申込受付が始まります!

区内を拠点に実施されるボランティア・福祉活動へ皆さまから寄せら れた共同募金等を財源とした助成金を配分します。

- ●受付期間:平成24年4月2日(月)~27日(金)
- ●受付時間:月~金 10:00~16:00
- ●問合·申込先:港南区社会福祉協議会(下記参照)





社会福祉法人

横浜市港南区社会福祉協議会

(港南区ボランティアセンター)

〒233-0003 港南区港南 4-2-8 3 階

(そよかぜの家3階)

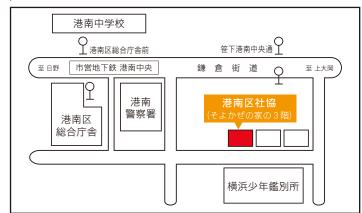
TEL: 045-841-0256 FAX: 045-846-4117 URL: http://www.kounan-shakyo.jp/ E-mail: info@kounan-shakyo.jp

港南区社会福祉協議会広報委員

岡本康夫 高柳宣幸 林壽美子 太田由美子 佐藤ふち子

森 修一 村田増江 守 悦子

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金により作成しています。



■発行/社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会 ■発行責任者/清水 鐵夫 ■発行日/平成24年3月 横浜市港南区社会福祉協議会 平成23年度

被災地の仲間にしい風雷け

東日本大震災後、港南区内の福祉関係事業所でも計画停電やガソリンなどの物資が不足する影響がありました。 港南区障害者地域作業所連絡会(以下、区作連)では"横浜でこの状況だったのに被災地の小規模事業所はど うなっているだろうか?何か支援できることはないだろうか?"と言う声があがり、「一日も早く施設が再開で きるよう義援金を集めようよ」と、各事業所内、区内のイベント時や販売先、区社協窓口に風ぐるまを目印と した義援金箱を設置しました。

義援金の届け先をインターネットで探していたところ、震災当日からの様子が克明に伝わってくるスログを見 つけました。宮城県石巻市で さをり織り をしている地域活動支援センター「こころ・さをり」でした。港南区 でも同じ織物を作業所のプログラムに取り入れているところがあり「支援できれば…」と区作連で決まりました。

作業所に通う障害者も小銭を持って来て義援金箱に 入れており、現地へ届けたスタッフに「むこうの人達は 大丈夫?元気にしていたの? | と、尋ねるなど被災地の 仲間を気にかけています。

風ぐるま義援金は、昨年10月21日に第一回として 164,494円 (平成23年6月~9月分) を直接届け 現在も募金活動を続けています。



長期の支援を考えてくださっているとの こと、とてもありがたいです。早く安心し て落ち着いた環境で活動したいと思ってい ますので、とても助かります。 私達のことを忘れず、ご支援をいただいて

嬉しいと共に、震災を教訓にしてくださっ ている方々がいることを知り心強いです。

港南区障害者地域作業所連絡会とは?

港南区内 14ヶ所の障害者地域作業所、活動 ホームが連携。日頃の情報交換や共通の課題を 話し合ったり、合同で自主製品の展示販売会を しています。

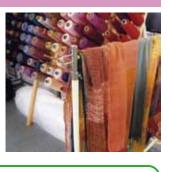
参加団体

フラワーロード · Honey Bee · 港南地域活動ホームひの · ジャンプ · はばたき ぬくもりの家 ・ かるがもの家 ・ パステル ・ ひだまりあったかい社 ・ そよかぜの家 そよかぜ南の家 ・ 港南福祉ホーム ・ 港南福祉ホーム第2ひまわり ・ チャレンジフィールド



さをり織りとは?

1968年に大阪の専業主婦 城 みさを さんが始めた手織り 方法。「自分の持って生まれた 感性を最大限に引き出すしこと を主眼に置いた画期的な手織り で常識や既成概念にとらわれず 好きなように自由に織る織物です



港南区障害者地域作業所連絡会の団体数は?

■応募方法: ①クイズの答え ②ご意見・ご感想 ③社協だよりを手に入れた場所 ④今後特集して欲しいテーマ・内容 ⑤氏名・〒・住所・TEL・性別・年齢をご記入のうえ、はがき・FAX・Eメールにて、4月28日(土)必着でお送りください。 (当選の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます) ■送付・問合先:港南区社会福祉協議会(裏表紙参照)



上永谷町内会 災害時支援者委員会



障害者や高齢者など災害時に特別な支援が必要な人達を「災害時要援護者」と言います。 上永谷町内会では、平成20年8月に災害時要援護者名簿作成に取りかかりましたが 「名簿作りだけで終わらせてはもったいない」との声が出て、災害時支援者委員会の活動に つながりました。

災害時の支援を求める人、ボランティアに応じる人の申込・登録から始まり、平成21 年2月に会が発足。「もしもの時」との不安から要援護者登録も自主的にあり、ボランティア も≪安否・誘導・介護・看護・救出・その他≫から自分が出来るものを選んでもらうよう にしたところ「安否確認ぐらいなら出来るかも」と登録された方が多いようです。

防災訓練時に安否確認をし、その際要援護者と担当ボランティアが顔を合わせます。

また、研修は年2回。昨年11月、簡易トイレの組み立てや、炊き出し、被災地支援に行かれた方の話を聞く機会を設け ました。委員の方によると話し合いでは発言が活発で「みんなの意見を集約したことをそのまま実行できる」ということです。 この思いがエンドレスな活動を続けられる原動力なのでしょう。



笹下地区社協 気持ちと気持ちのやりとり

東日本大震災後、地域で「絆」づくりの認識が強まったのを機に、高齢者や障害者への "おもいやりの気持ち"を実践できるよう笹下地区支えあいネットワークのボランティアを 対象とした高齢者疑似体験と介助技術講座を開催しました。介護を経験している住民が 講師となり、車いすの基本操作から介助までを学びました。

感覚機能、運動能力が低下している方を相手にする場合 よりしっかりした接遇ができないと、思いは通じません。 おもいやりの気持ちを忘れないことが重要です。参加者か らも「人と人との気持ちのやりとりが一番大事」「相手の 身になることは難しいが少しでも気持ちに近づきたい」と の感想が出ました。

非常時だけでなく、地域のお年寄りや身体の不自由な方 が困った時にお手伝いできるよう「おもてなし」について の勉強会を続けることが必要と感じています。









毎月15日は市民が自衛意識を持ち、防災について考え実行していく「横浜市民防災の日」です。 港南台南自治会ではこの日に"元気ですよ"の意思表示として「ピンクの防災ハンカチ」を各戸 に掲示する取組みが続いています。

平成20年10月の「防災体制づくりのための意見交流会」で出された意見がきっかけとなり

2ヶ月に1回、定期的に話し合いの場が持たれ、平成22年2月に は「みなみ5丁目防災会」が組織されました。そして平成23年2月 より、お互いに安否を知らせようとの目的でスタートしました。

ハンカチは自治会員全戸に配布。道路側の一番見える場所に朝から夕方まで。強制ではないですが 現在35%程の世帯で掲示されています。

防災会の活動として各家庭に備蓄を啓蒙するリーフレットの全戸配布、防災訓練や、その反省・課題 を踏まえ自治会員の声を聞く意見交換会も開いています。実際に使える、災害時に活かせる防災への 取組みは更に進化中です。



野庭団地地区社協 東日本大震災被災地への応援コーナー

平成23年11月6日に開催された「第25回ふるさとのば福祉 の集い」では被災地への義援金や応援メッセージを募るコーナーを 設置しました。

親類がいる関係で震災直後より慰問に岩手県陸前高田市近郊を 訪れていた地区民生委員が被災地の民生委員と情報交換したところ 「被災地が要望する品物を手渡す」ことが被災者にとって大変喜ばれ ると分かり、何度か支援物資を届けていました。





その縁で今回集まった義援金で使い捨てカイロを購入。応援メッ セージ、体験コーナーで作ったアクリルたわし、第2若草会作成の 千羽鶴と一緒に11月18日に岩手県気仙郡住田町下有住地区の民 生委員に託しました。翌日には仮設住宅にお住まいの方々に届けら れたとのことです。

今後も被災地の要望や情報を聞く中で、物資など協力できること があれば地区として支援していきたいと思います。



永谷地区社協 地域と学校との連携

永谷地区支えあいネットワークは、地区社協、自治会・町内会、福祉保健団体などの地域 住民が主体となって地域ケアプラザ、区社協、区役所と協働で定期的な話し合いの場を持っ ています。

今年度のテーマは「地域と学校との連携」。近隣の小・中・高校の校長に参加してもらい 災害時の課題について情報交換をしています。話し合いの中で、子どもたちを守るためには 地域との協力が不可欠であるにも関わらず、学齢期の子どもがいない世帯では学校の災害時 対応が全く分からないという声がありました。近所にどのような子どもがいるか把握するた めにも、学校を含めた地域が交流する必要性を強く感じました。登下校中に発災した時でも すぐ助け合える「顔と顔がつながった」地域を目指しています。



永谷地区では、70歳以上で一人暮らしの高齢者へ災害時に持ち出せるグッズ を提供し、点検と期限付き商品(保存水、懐中電灯用の電池、氷糖キャンディー 等)の交換を兼ねて定期的な安否確認をしています。訪問するきっかけ作りで始 めましたが、地域の絆づくりへ着実につながっています。



緊急カード・カードケース・ 防災グッズ袋・非常用笛・ 懐中電灯(電池)・保存水・ 氷糖キャンディー・ラップ



港南区災害ボランティアネットワーク 設立から 1 年、主な活動

3年余の準備期間を経て、平成23年2月15日「港南区災害ボラ ンティアネットワーク」が設立されました。

災害ボランティアネットワーク、初めての定例会は3月11日。 長く激しく揺れる地震の中、会員も慌てて机の下にもぐり込みました。 災害に対する普段の地道な活動の大切さを実感し、気持も新たに 平成23年度の活動に取り組みました。

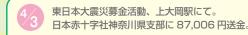
参加者募集 多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

災害ボランティアセンター シミュレーション!!

○日時:平成24年3月20日(火・祝) 10:30~13:30

◎場所:港南区福祉保健活動拠点 ◎問合・申込先:港南区社会福祉協議会





佐藤榮一氏の講演 「東日本大震災におけるボランティア活動について」

ボランティアセンター立ち上げ訓練、シミュレーション。 参加者46名。訓練終了後非常食試食。

「横浜発ボランティアバス」会員2名、担当職員1名参加。 釜石市災害ボランティアセンターにて活動。

丸山台小学校地域防災拠点での防災訓練に参加。 「ボランティアセンターの役割について」寸劇披露

区社協住民参加型分科会・災害ボランティアネットワーク 合同研修会「災害に備える!」

上大岡地区社協研修会に参加。

災害ボランティアネットワークの役割説明とボランティア センターについての寸劇披露。

